

亀岡市福祉有償運送運営協議会 議事要旨

開催日時:平成30年3月2日(金)14:00~15:10

開催場所:亀岡市役所2階 202会議室

出席者:運営協議会委員6名

事務局3名

1. 開会

司 会	—開会—
-----	------

2. あいさつ

課 長	—地域福祉課長 あいさつ—
-----	---------------

委 員	—自己紹介—
-----	--------

3. 会長・副会長の選出

司 会	「亀岡市福祉有償運送運営協議会設置要綱」第4条第2項に基づく委員の互選により、会長に西藤 二郎 様、副会長に中川 國彦 様を選出。
-----	---

4. 協議事項

会 長	議事の(1)「NPO法人かめおかアッシーの運送状況について」を、平成29年度の活動報告をもとに、説明をよろしくお願いします。
-----	--

かめおか アッシー	運転会員数の昨年から3名減は、運転手が高齢の方が多いということと、節目3年、5年、10年とって疲れてくるということがあって減っています。活動に関しては全く支障がありません。
--------------	--

	利用者会員の状況は12名減となっております。ここ2、3年ですが亡くなられた方が多く、また、体調が悪く、自立して生活できないので施設に入られる方が多かったです。もう一つは、自治会による送迎サービスや介護保険の移送サ
--	--

ービスを利用している方もあります。基本的に私たちは会員をどんどん拡大して獲得してということではなく、市社協、利用者さんの紹介で新規会員を獲得しており、現在の利用者人数で安定しているのではないかと思います。

アッシーへの不満で多いのは、予約制であり、急な利用ができないことです。急な対応は、理事長が対応することが多いですが十分でないと思います。

参考までに報告させていただきます。会員の中で一人暮らし高齢者が12、3名おられ、高齢者世帯も14、5名いらっしゃいます。認知症が進んでいる方も数名おられ、何度も同じような連絡があつたり、連絡したと思っていた方が、実際連絡がなかったりという問題が起きています。認知症の方に対する対応は、親切に行い、勉強していくべき課題と考えています。昨年秋のことで、妻が車椅子で、夫がかなり弱っているという方で、老老介護という形になった。妻も非常に機能低下していて、それ以上にサポートしていた夫の機能が低下していたケースもありました。アッシーから市役所に電話することがあり、事情を説明して自立した生活が難しいと思うので、ヘルパーが入っていただければいいのですがということ報告した経過があります。その時に、亀岡市の要支援者発見・通報制度を知り、アッシーも協定書を締結させていただきました。改めてメンバー全員に、注意して見守っていくことを徹底しました。

高齢者の一人暮らしでは、なかなか他人と話す機会がないので、車の中での会話を楽しみにされているようなことがある。運転に支障のない限り、対話して気持ちよく乗ってもらえるように心がけたいと思っています。音楽テープを流すと歌う方もおられますし、やり方も含めて、幅広い福祉の輸送サービスを行っていきたいと思っています。

(資料1に基づき説明)

会 長

ありがとうございました。

ただ今ご説明をいただきましたが、何かご質問、ご意見等ございませんか。

会 長

利用者が減っている状況について、亀岡市に届出等はされているのか、そのあたりはどのようになっていますか。

事務局

本会議は、毎年度末の開催を目途に行っております。事業者様に活動状況をご説明いただくにあたり、資料作成の中で、利用状況数値を報告していただいているので、常々随時の報告を市の方で受けるということはないです。この資料を作成した段階で、減っているということ承知することとなります。

会 長

利用者人数が減少していても、高齢化により介護度が高くなったり、認知症状により重複障害のようなことが出てきたりという状況があると思われる。単に数値の変更だけでなく、利用者の中身のことを亀岡市に報告しておいてもよいのではないかと思います。

あと、利用者が減っているが、利用回数は増えているというのは、利用者が

行動的になっておられるという状況にあるのかなど、福祉運送の目的でもあるので非常に結構なことかと思えます。

もう一点、事故がないということを報告されていましたが、老老介護の中で認知症が出られている方がおられるというような場合の、リスクマネジメントも必要であると思えます。

利用会員が変わる中でリスクが増える可能性があるということについて、利用者へのケアの在り方をマニュアル化することで、質の高いケアをしていただいているということが見えるのではないかとお願いいたします。

かめおか
アッシー

利用者の数が減ったとか、質が変わったということを途中で亀岡市に報告されたらという意見もありましたが、移送サービスですので重大事故があった場合は必ず報告しますが、細かなことは年に1回の報告でよいのではないかと思います。

しかし、利用者のケアについては活動上必要と思えますので、マニュアル等については検討していきたいと思えます。

会 長

確かに細かな報告は求められませんが、年に1度の報告の中で、資料にも利用者の本質の部分を記していただけると質の高い活動を把握できるのではないかと思います。

その他に何か御指摘をいただけることはないでしょうか。

委 員

利用者の独居世帯また高齢者世帯がおられる中で、第三者の目から見て、これは危ないんじゃないかという実例報告がありました。会長のおっしゃるように、情報提供とかつなぎの対応が文字にして報告されると、亀岡の中での移送ボランティアとして付加価値としても上がっていくのではないかと思います。

私どもの知り合い、関係者等々もたくさん利用させていただいているので、今後ともよろしくお願ひしたいと思えます。

会 長

その他に何か御指摘をいただけることはないでしょうか。

副会長

今高齢者の事故が増えて社会問題にもなっています。高齢者の運転手の方も多く70歳以上の人はまだまだ元気ですけども、運転手採用の時、タクシー業界の場合は年齢制限等あるのですか。

委 員

年齢の定めは、京都市内の個人タクシーの場合、75歳ということになっています。当社は75歳以上の方が1人いますが、毎年1回の健康診断、その人の日常的な会話や嘱託医の確認をとりながら、1年毎の嘱託契約としています。過去には60歳、65歳という年齢制限をとっていたことがあります、現在それをしたら稼働する人がいなくなる恐れもあります。

安全に対するケアが生命線ですから、常に緊張感を持っていますが、京都市

域のタクシー乗務員の確保についても恐ろしい勢いで難しくなっています。

委員 京都市域の個人タクシーの平均年齢は60歳を超え、毎年400人くらい減少しています。なんとか魅力ある職業にしようと、バス事業、トラック事業を含めて、国会でも議論はされているところです。人を呼び込める職場にしようと施策を行っても、なかなか実態としては追いついてないのが現状かなと思います。

副会長 現在、アッシーさんでもいらっしゃる70歳代の男性4名、女性1名の状況はどうですか。

かめおか 75歳を超えておられる方が多いです。

アッシー
副会長

逆に40代、50代の人の方がいらっしゃいますが、どういう職業の方なんですか。

かめおか 変則勤務の方や自営業の方です。アッシーでは初めて運転手登録される方は、概ね65歳までの方ということにしています。定年はないですが実際は、運転も性格もしっかりしていて、元気な方を条件として、概ね75歳を目途としています。いくらそのような方でも80歳はやめてもらおうと思っています。タクシーのように常時人を乗せるのではなく、1日1回往復だけとか運転に対する負担はないと思うので、タクシー乗務員とは違う条件になると思います。

会長 高い年齢層の運転手がおられることに先ほど苦言を呈しましたが、運行管理や安全運転講習の状況等、これは安心だなということが考証できるような資料があればありがたいと思います。

また、ガソリン代が今だいぶ上がっていますが、運賃上のトラブルと言いますか、クレームをつけられたとか、運転手の負担になっているとか実態はどうですか。

かめおか 運転手の問題なので利用者からの苦情はありません。利用者からの利用料金の8割を運転手に渡しています。以前ガソリン代値上げの際に運転手の経費を7割から8割に増やした経過があります。だいたいその時と今とで同じようなガソリン代ですから、利用料金を上げるということもありません。

会長 他府県では、経費がかかりすぎて運転経費との乖離が進んでやめたというところも、業者数も減っているということもあるので、それに比べれば亀岡市はそのようなこともなく非常に結構かと思います。

委員 運転会員年齢別の表について、70歳代となっていますが、一人一人のパワー、力量があるかと思いますが一つの基準として75歳があるようですので、次回

には75歳の区分を加えていただけたらと思います。

事務局 75歳を一つの基準として、超えた年齢の方が何人おられるか、安全講習の受講状況等も書き込みができるよう事務局で改めさせていただきます。

会長 年代と運転免許の種類等、事務局には、資料要求の際の検討をお願いします。他に無いようでしたら、議事(2)「NPO法人ぴかピカの運送状況について」を、平成29年度の活動報告をもとに、説明をよろしくをお願いします。

ぴかピカ 当法人は移送よりも生活介護をメインにやっています。ほぼ9割以上が重度障害の方、とくに難病の方が多く、人工呼吸器を装着されている、痰の吸引が必要、食事に関しては胃ろうが必要となってきます。そのあたりの技術、経験のある介護福祉士、看護師が同行、運転手も一定の資格を持っているところからスタートしています。

昨年と比べ運行回数が少し減っていますが、例えばALSの患者さんの場合、だんだん身体が動かなくなり、最後は自分の意思すら訴えられなくなる。その間に認知症を合併すると、前はあそこに行きたい、ここに行きたいと言っていたのが言えなくなる状況のなか、支援の中で読み取っていきます。

今回は、運転会員が2名増えましたが、病院のICUを載せて運送しているような状況なので、心臓が止まってしまった場合への対応等、医療関係者を呼んで技術対応の講習を開いています。

ぴかピカの諸経費ですが、儲けはありません。利用者の希望を叶えたい、公的支援も受けてられるが、お金の負担をできるだけ減らしてあげたいという法人の思いで取り組んでいます。

(資料2に基づき説明)

会長 ありがとうございます。ぴかピカさんもただ今ご説明をいただきましたが、何かご質問、ご意見等ございませんか。

本当に頭の下がる活動です。利用者に合わせて個別の支援で、それを一般化するというのはなかなか難しいものです。しかし、移動の制約を少しでもとってあげるということで、取り組んでいただいていると思います。

他に何かございませんでしょうか。

委員 ドライバーも含めて専門スタッフの方が、利用者の希望に基づいて動いていただいているのですが、起こってはいけないのですが、車内で対応できないようなハプニングのとき、医療機関と連携はどうなっていますか。

ぴかピカ 何かあった時、車の中で対応はできないと思います。場所にもよりますが、病院との連絡体制は常にありますので、できるだけそこに早く移動できるようにします。

通常支援が 24 時間なので、どの時点でも連絡がとれ、支援できる体制があります。

会 長

亀岡市における実態として、移動制約者をどのように定義付けるかにもよりますが、移動制約者の数値や地域的分布など基礎資料的なものを亀岡市からいただけるとありがたいと思います。

地域の状況を把握する中で、両事業所の活動を協議できると、福祉有償の意味がより深まるかと思えます。

その他になにかありますでしょうか。

委 員

例えば、介護度の人々が地域ごとでどれくらいいるかはありますが、それを超えて寝たきりであるとかの状態把握、身体障害、精神障害、知的障害、全部を把握することは市町村としてはできていません。何かの制度を使うとか手帳をつくられると数字の把握はできると思えます。

会 長

先ほどアッシーの報告にあったように、会員として辞めていかれる中で、介護保険制度の中で利用されているのか、あるいは社会福祉法人等の社会貢献の中で利用されているのか。実態は把握しにくいと思いますが、地域の中でセーフティネットを作っていく流れなので、介護保険で救われている、NPO法人等の当事業で救われている、といったことが分かったと非常によいと思えます。

少し資料が確保できればありがたいと思いますので、お手間ですがどうぞよろしくをお願いします。

議事については、以上で終わります。議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。進行は事務局に返させていただきます。

5. 閉会

事務局

—閉会—